

〔半紙 4年生〕

種まく人

石橋鯉城先生書

種まく人 教室名前

☆名前は漢字で書きましょう。
☆名前も作品の一部です。ていねいに書きましょう。

てほん
手本のならいかた



▲止めて方向を変える ●あきに注意

4年生

ここに注意

ねらい

★半紙四字書き課題。ひらがたと漢字をバランスよくおさめる。

学習のポイント

種…画数の多い字です。やや細めに書くとひらがたとのバランスがとれます。横画の長さや間かくをよく観察してください。

ま…一画めから二画めへと気持ちをつなげて。むすびは筆を返すように書きます。

く…力強く堂々と筆を運びます。線の角度に注意。
人…お手本の筆脈をよく見て、左右のはらいはのびのびと。

〔半紙5年生〕

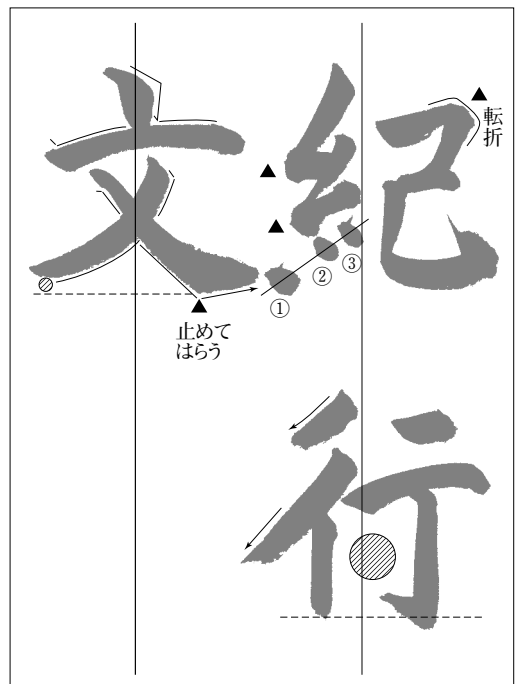
紀行文

石橋鯉城先生書

教室
紀行
名前
文紀行

☆名前は漢字で書きましょう。
☆名前も作品の一部です。ていねいに書きましょう。

てほん
手本のならいかた



▲止めて方向を変える ◎あきさに注意

ねらい

★半紙三字書き課題。

★名前もバランスよくおさめよう。

学習のポイント

紀：糸偏はお手本のように字形が変化した場合、筆順が異なるので、注意。

行：「イ」（ぎょうにんべん）は一画めと二画めの向きに注意します。偏はやや細めに旁は広めにかたどります。

文：文字の中心を意識しよう。筆の入る方向に注意して、リズムよく筆を運びます。

※紀行文とは、旅行中のできごとや感想を記したものです。紀貫之の「土佐日記」、俳句で有名な松尾芭蕉の「奥の細道」などがあります。

〔半紙 6年生〕

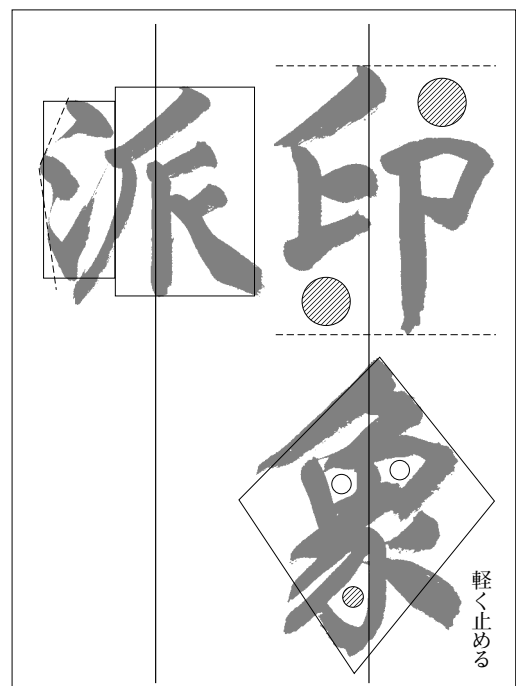
印象派

石橋鯉城先生書

教室 印象派 名前

☆名前は漢字で書きましょう。
☆名前も作品の一部です。ていねいに書きましょう。

てほん
手本のならいかた



◎あきさに注意 ○広さに注目

6年生

ここに注意

ねらい

★行書表現への移行。

★やさしい行書体の練習。

学習のポイント

印…偏と旁の位置関係に注目しよう。

象…お手本を指でなぞって、運筆をしっかりと学んでから、書いてみよう。

派…点画の長短、向きに注意します。

派…点画の長短、向きに注意します。

印象派とは19世紀後半にフランスで生まれた芸術運動です。

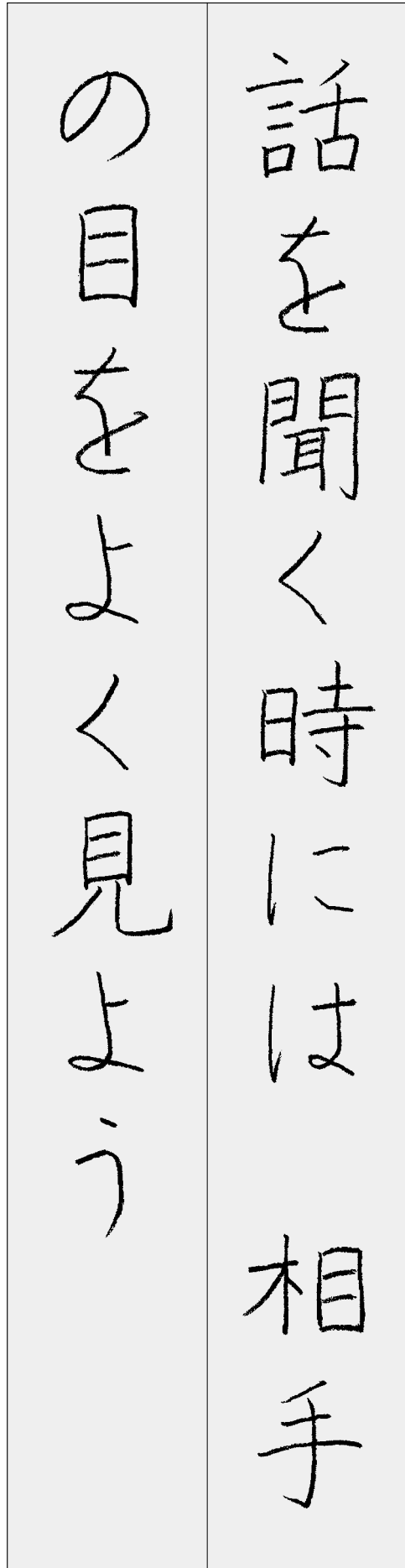
また、その運動に賛同した絵描きさんたちグループのことを印象派と呼ぶこともあります。

モネ・ゴッホらが有名です。

〔硬筆 4年生〕

話を聞く時には 相手の目をよく見よう

倉島須美子先生書



☆書く前によく手本を観察しましょう。 ☆筆順や文字の組み立て方、文字の大きさや配列に気をつけて書きましょう。
 ☆名前も作品の一部です。漢字で、ていねいに書きましょう。

てほん 手本のなにかた

○同じ広さ

●あきにご注意

※算用数字は筆順の一部を示しています。
 ※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

小学校の硬筆は鉛筆が中心ですからなるべく鉛筆で書くようにしましょう。

〔硬筆 5年生〕

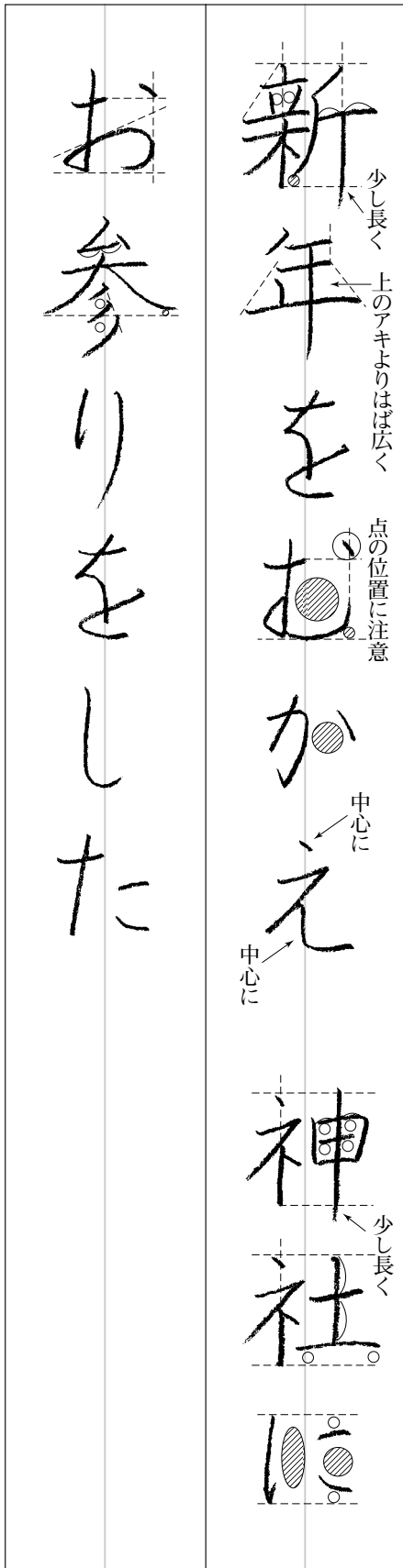
新年をむかえ 神社にお参りをした

倉島須美子先生書



☆書く前によく手本を観察しましょう。 ☆筆順や文字の組み立て方、文字の大きさや配列に気をつけて書きましょう。
 ☆名前も作品の一部です。漢字で、ていねいに書きましょう。

てほん 手本のならいかた



○同じ広さ

◎あき(あき)に注意

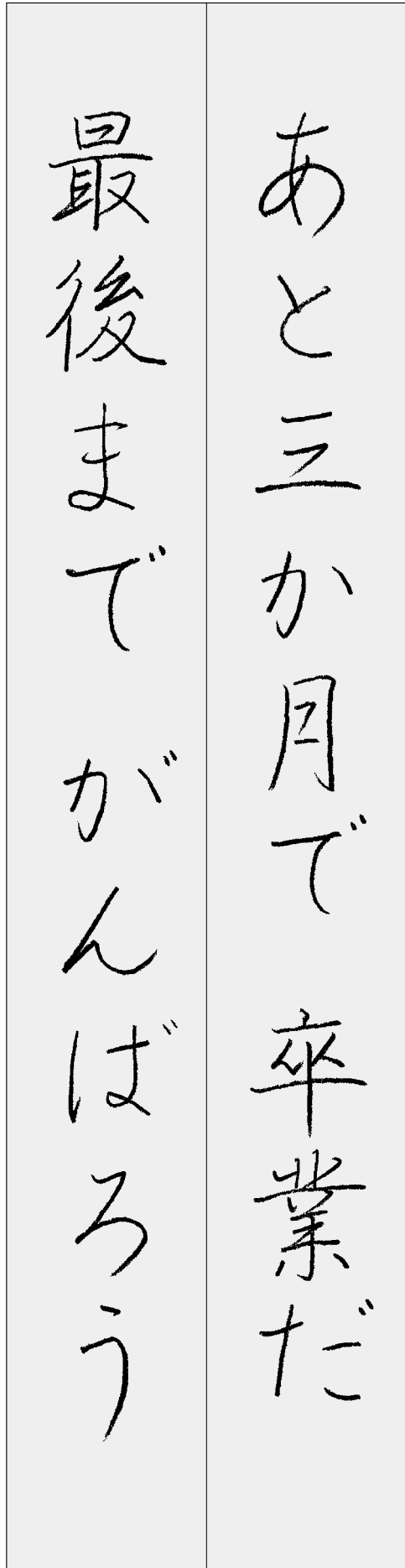
※算用数字は筆順の一部を示しています。
 ※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

小学校の硬筆は鉛筆が中心ですからなるべく鉛筆で書くようにしましょう。

〔硬筆 6年生〕

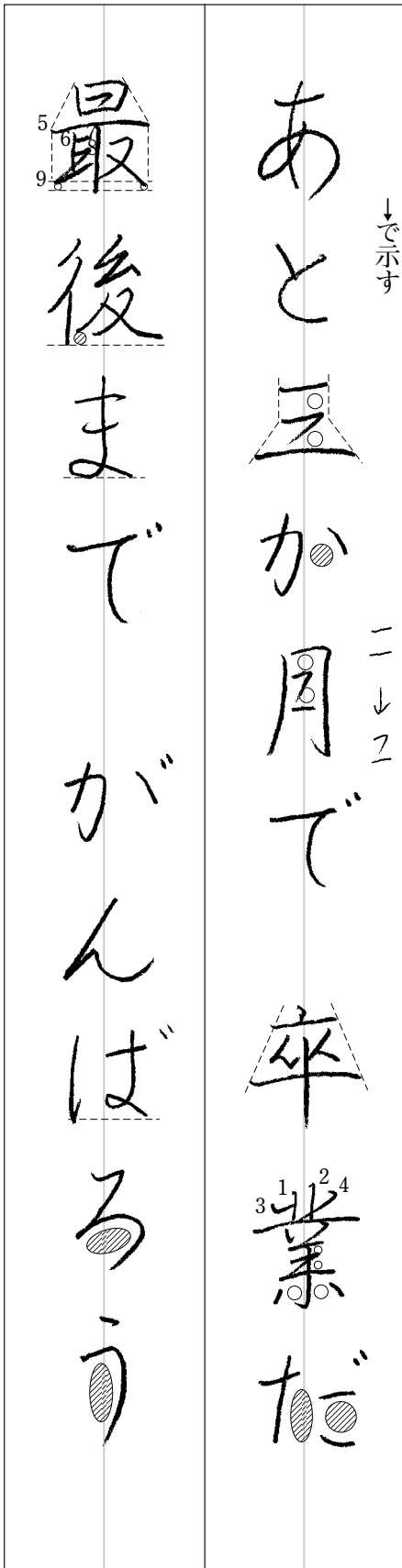
あと三か月で卒業だ 最後までがんばろう

倉島須美子先生書



☆書く前によく手本を観察しましょう。 ☆筆順や文字の組み立て方、文字の大きさや配列に気をつけて書きましょう。
 ☆名前も作品の一部です。漢字で、ていねいに書きましょう。

てほん 手本のなにかた



楷書から行書へ

ニ ↓ ス

ニ ↓ ス

人 ↓ 人

北 ↓ 北 禾 ↓ 禾

↓で示す

ニ ↓ ス

日 ↓ 日
又 ↓ 又

么 ↓ 么 又 ↓ 又
先はかるくとめる

○ 同じ広さ

◎ あきに注意

※算用数字は筆順の一部を示しています。
 ※中心の線は下じきに入れて書きましょう。

小学校の硬筆は鉛筆が中心ですからなるべく鉛筆で書くようにしましょう。

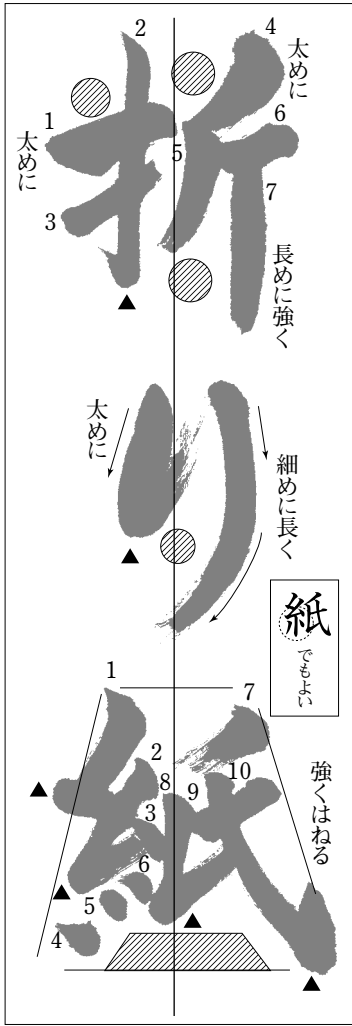
〔^{じょう}条幅^{ふく} 4年生〕

折^おり紙^{がみ}



石橋^{いしばし}鯉^り城^{じょう}先生^{せんせい}書

てほん
手本のなにかた



▲止めて方向を変える ◎あき^{あき}に注意

ここに注意 4年生

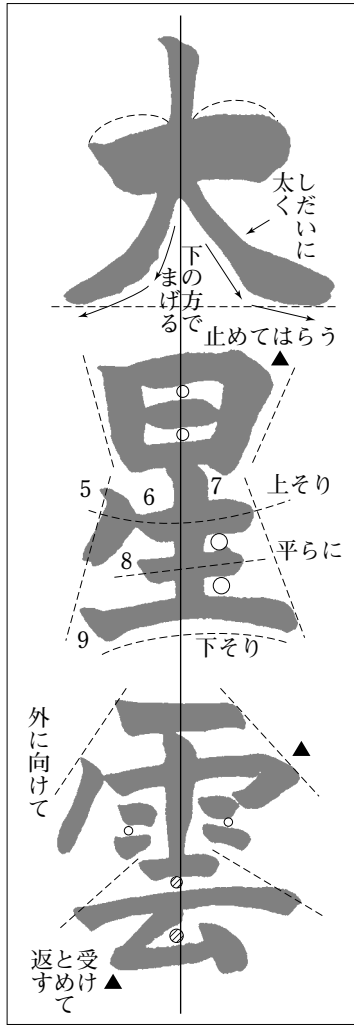
折…手偏(扌)の一画めは強めに書き、一・三画めはやや細くする。旁は四・七画めをやや太めに書いて仕上げ^{しあげ}る。

り…線の太さと長さ、筆の勢いに注意したい。

紙…糸偏(糸)は右上がりにしつかりと書く。旁は線の方^{かた}向を考えながら大らかにまとめたい。とくに全体を台形にかたどり、下のあけ方を見てほしい。

- ※書く前にじっくりと手本を見ましよう。
- ※条幅の作品は、墨を大事に使い、起筆、送筆、収筆のリズミカルな表現が大切です。体全体を使って、書き順を覚えて、のびのびと書きましょう。
- ※線の太い細いや、字の大きさなど、全体の流れに気を付けて書きましょう。

てほん
手本のならいかた



▲止めて方向を変える
◎あきさに注意 ○広さに注目

〔^{じょう}条幅^{ふく}5年生〕

大^{だい}星^{せい}雲^{うん}



石橋^{いしばし}鯉^り城^{じょう}先生^{せんせい}書

ここに注意 5年生

大：画数が少ないので太めに書く。一画めは太く。二画めは中心からおろして、下の方で曲げてはらい、三画めは二画めにつりあうように太くしてはらう。

星：「日」と「生」のかさなりの字。「日」は少し横広に、「生」は「日」をささえるように書く。

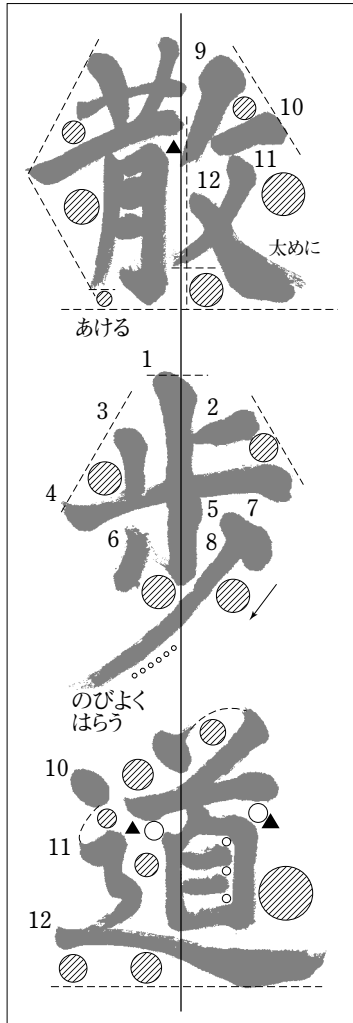
雲：「雲」（雨かんむり）は横広に書き、下に「云」を中心になたく書いて整える。

※書く前にじっくりと手本を見ましょう。

※条幅の作品は、墨を大事に使い、起筆、送筆、収筆のリズミカルな表現が大切です。体全体を使って、書き順を覚えて、のびのびと書きましょう。

※線の太い細いや、字の大きさなど、全体の流れに気を付けて書きましょう。

てほん
手本のならいかた



▲止めて方向を変える ●あきさに注意 ○広さに注目

〔条幅6年生〕
散歩道



石橋鯉城先生書

ここに注意 6年生

散…「昔」は中心をとりながら縦長に書く。十二画めは前の画を受け、太細の変化をつけて長めに書こう。

歩…一・五画めの中心を通し、八画めの左はらいで、この一字を安定させたい。

道…「首」は中心をとりながら縦長に。「一」は「首」を包むように大らかに書くこと。

※書く前にじっくりと手本を見ましょう。

※条幅の作品は、墨を大事に使い、起筆、送筆、収筆のリズミカルな表現が大切です。体全体を使って、書き順を覚えて、のびのびと書きましょう。

※線の太い細いや、字の大きさなど、全体の流れに気を付けて書きましょう。